

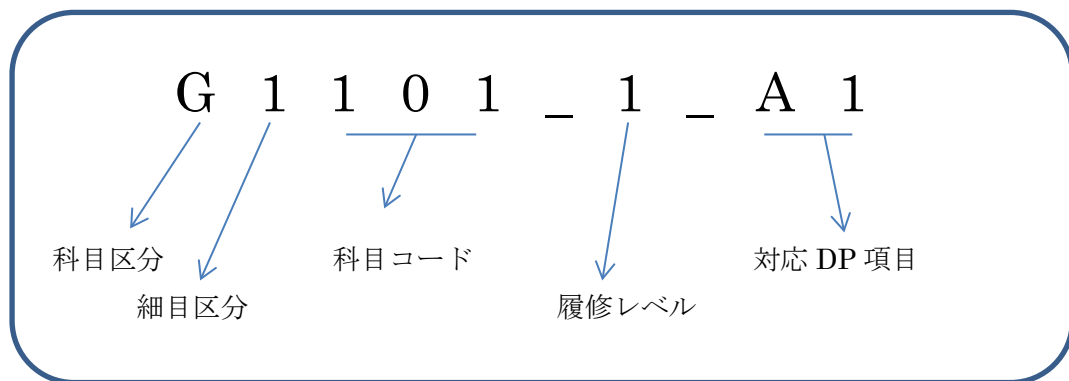
芸術学部 「履修系統図」の見方

入学直後から卒業に至るまで、どのような順番で履修科目を選び、どのように学習を積み重ねていけばよいのでしょうか？「履修系統図」はきちんと計画立てて科目を履修し、学修できるように、また、選択に迷った場合の参考資料になるようにと作られた補助ツールです。ぜひ活用してください。

○科目ナンバーについて

「履修系統図」は授業科目一覧表の一種ですが、最大の特徴は授業科目名の右に記された一連の記号にあります。この記号を「科目ナンバー」と呼びます。全ての科目には異なる科目ナンバーが付けられており、そのナンバーには意味があります。

一番左のアルファベットは「科目区分」に対応しており、二番目の数字は「細目区分」、以下、下の図にあるように、全ての記号には意味が付されています。記号の配置ルールが分かれば、表を見なくともその科目がどのような科目か、カリキュラム上でどのような位置にある科目かが分かります。



学生のみなさんには、①「科目区分」や「細目区分」、それに「対応 DP 項目」（学習目的別の記号です）を参考にしながら、極端な偏りなく、バランスの良い履修を目指すこと、②履修レベルを参考にしながら、段階を追って科目を選択、履修していくことを念頭に置いていただきたいと願っています。

○各記号の説明

- ・ 科目区分 → 「一般教育科目」等、カリキュラムを構成する大区分にあたります。

G	一般教育科目
H	専門教育科目 1（学部共通）
I	オープン演習科目（学部共通）
J	専門教育科目 2（造形学科選択）

K	専門教育科目 2 (デザイン学科選択)
L	専門教育科目 2 (造形学科必修)
M	専門教育科目 2 (デザイン学科必修)

- ・細目区分 → 科目区分内でさらに細かく分類された科目グループの名称です
- ・科目コード → 科目一覧表にしたがって 100 から順に番号が振られています
- ・履修レベル → どの年次で履修すべきかを示しています
- ・対応 DP 項目 → 学位授与方針の各項目に対応した記号です

(参考)

芸術学部 学位授与方針	
〈芸術を通じた創造力〉	
A-1	本源的な生命の力を感じつつ、主体的に制作活動に取り組むとともに、他者と共鳴し合う場を創ることができる。
A-2	芸術活動を通じて真理を探究しつつ、社会に向けて情報発信することができる。
〈論理的・批判的思考力〉	
B-1	他者との考え方や文化の相違を受け入れた上で、課題解決型の対話をおこなうことができる。
B-2	諸情報からの確に論点を構築し、議論や解決策を組み立てることができる。
B-3	社会事象を構成する様々な要因を的確にとらえ、健全な批判力をはたらかせることができる。
〈知識・技能〉	
C-1	日本および世界各地の過去から現在に至る芸術文化の諸相を理解し、説明することができる。
C-2	芸術作品の制作に必要な知識と技能を身につけ、実制作に応用することができる。

以上
教務委員会